

様式第6号

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和 7年 4月23日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市佐土原町上田島1389
名 称 佐土原小学校区地域づくり協議会
代表者の氏名 会長 山下 健勇
電 話 番 号 0985-74-3471

令和6年 5月28日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (1) 事業実施報告書
- (2) 収支決算書又は収支決算書
- (3) 事業別収支計算書
- (4) その他

(様式第6号)

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

佐土原地域自治区

佐土原小学校区地域づくり協議会

1 総括

全ての事業計画を実施すべく、各部会も知恵と工夫で実施に向けた取り組みを行い、結果、沢山の住民の参加で住みたくなるまち「さどわら」に寄与出来たと思います。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	1,063,000	1,063,000	0	
繰越金	244,844	244,844	0	
			0	
合計	1,307,844	1,307,844	0	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	子ども見守り隊事業	19年目	20,000	20,680	680	
防	防災訓練事業	15年目	117,844	14,375	▲ 103,469	
福	高齢者世帯への奉仕事業	19年目	25,000	19,934	▲ 5,066	
福	認知症サポート事業	5年目	30,000	25,160	▲ 4,840	
福	福祉施設訪問事業	18年目	10,000	9,630	▲ 370	
健	健康づくり事業	20年目	160,000	121,563	▲ 38,437	
伝	伝統文化伝承事業	20年目	200,000	185,981	▲ 14,019	
教	学校との連携に関する事業	19年目	80,000	38,751	▲ 41,249	
教	三世代交流事業	5年目	100,000	77,453	▲ 22,547	
他	広報事業	20年目	145,000	140,011	▲ 4,989	
他	佐土原のまつり活性化事業	19年目	340,000	333,678	▲ 6,322	
他	イルミネーション事業	10年目	80,000	75,503	▲ 4,497	
繰越金			0	245,125	245,125	
合計			1,307,844	1,307,844	0	

3 実施報告

防犯・防災に係る事業

事業名	子ども見守り隊事業	実施年数	19年目												
事業期間	開始：平成18年度	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	<基本目標>ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち 小学校児童の安全安心に寄与し、子供と大人が触れ合えるまちづくりに努める														
目的 (期待される効果)	登下校時に見守り活動を各地区老人クラブやボランティアの皆様と協働で実施し児童の安全を図る。														
事業内容・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の登校時と下校時は道路の要所の交差点に立ち、児童の安全と親睦を図る。 ・見守りの老人クラブ会員・地域のボランティア見守り用として救急箱、バンドエイド配布する。 ・小学校へ出向き全校生徒の前で何処で見守りをしているか紹介して頂きました。 <p>登校時 毎朝 7時15分～8時 主要交差点にて登校見守り (本町交差点・東春田交差点・小学校陸橋そば他)</p> <p>下校時 毎日 小学校予定表にて 東春田交差点 本町交差点 水曜日 各地域の主要交差点中心(老人クラブ)</p>														
事業費	20,680円														
対象者	小学生、中学生、高校生 老人クラブ他														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>270人/月</td> <td>290人/月</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人/月</td> <td>17人/月</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>285人/月</td> <td>307人/月</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	270人/月	290人/月	スタッフ	15人/月	17人/月	合 計	285人/月	307人/月
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	270人/月	290人/月													
スタッフ	15人/月	17人/月													
合 計	285人/月	307人/月													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時、元気な子供達に接する事で元気を貰ってる。 ・地域によっては新年度見守り隊の募集を行い新人の方がメンバーに加わり広報紙で紹介をされている。 														

◆自己評価（評価： A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	子供の帰宅まで見守り活動を通して安全安心を求めている。	広報	⑤事業の周知	A	A	小学校より下校時間予定表を頂き自治会長に毎月配布している。 老人会の全面的な協力を得ている。
	②住民の参加	A	A	・下校時間に合わせ各グループとも月間予定表を作成し抜け漏れが無い様に工夫されている。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	・核家族が増える現代において、世代間の交流を図ることができる。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	老人会、地域住民の協力が得られている。小学校と下校時刻の確認。	事業継続の必要性		(有) ・ 無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <p>子供達の安全安心が守られるようPTAと地域住民からの提案で通学路の危険箇所を毎年改善していただいています。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

防犯・防災に係る事業

事業名	防災訓練事業	実施年数	15年目																		
事業期間	開始：平成18年度	終了： 年度																			
地域魅力発信プランとの関連	<p><基本目標> ・もしもの時、住民が安心、安全に住める町づくり</p>																				
目的 (期待される効果)	<p>・災害時迅速に対応出来る行動や対処能力を身に着け自身の安全や周りの人に対しても対応できる様にする。</p>																				
事業内容・手段	<p>宮崎市北消防署の隊員による講座と体験型の訓練で佐土原小学校区地域づくり協議会と関係ある自治会長会、民生委員の方を中心に座学と体験型訓練を実施。 ① 救急救命法・・・緊急事態時携帯を活用し救急隊員との会話のもと心肺蘇生とAED操作を行い救命に繋げる ②止血法 ③衣服で作るタンカー、毛布と物干し竿で作る簡易タンカー ④起震車による地震体験</p>																				
事業費	14、375円																				
対象者	地域住民、佐土原小学校区地域づくり役員、自治会長、民生委員、各地区防災委員																				
参加者数 (内訳)	<p>(1)防災講座</p> <p style="text-align: center;">令和6年8月25日(日) 10時～11時30分</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域づくり</td> <td>9人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>自治会</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>1人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>一般参加者</td> <td>20人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>39人</td> <td>57人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	地域づくり	9人	15人	自治会	9人	8人	民生委員	1人	6人	一般参加者	20人	28人	合 計	39人	57人
年 度	令和6年度	令和5年度																			
地域づくり	9人	15人																			
自治会	9人	8人																			
民生委員	1人	6人																			
一般参加者	20人	28人																			
合 計	39人	57人																			
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>宮崎北消防署隊員と防災コーディネーターの方による講習会に参加し隊員との電話をしながらの救命法や地震体験は想像をはるかに超えた体験でした。震度6・7では地震対策の必要性を痛感した。</p>																				

◆自己評価（評価 A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	À	À	各地で災害報道がある中”もしも”を想定して訓練に参加した。	広報	⑤事業の周知	À	À	地域づくり役員会や地域づくり広報にて防災広報の周知をした。	
	②住民の参加	À	À	各自治会内部に防災班を持たれており自前の訓練の参考として参加されてる。		事業の効果	⑥課題解決への作用	À	À	体験する人が増える事によりいざという時に救命出来る人が増える。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	À	À	地震、台風などの災害が発生する中対応出来る市民のすそ野を広げるのに寄与出来た。	事業の必要性		⑦住民の満足度	À	À	3つのコースで体験講習を通して熱心に質問をされており疑問に思われてる事の解決に繋がった。
	④各種団体との連携	À	À	自治会、民生員、地域住民の参加が得られた。		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <p>直近で女子高校生の携帯を使った人命救助が報道されたのをヒントに当地域づくりでも取り入れた講習会を実施しました。隊員への電話通報からスタートして周りの人への救助依頼やAEDの操作法などを連携して救急法を体験した。</p>								
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>					対応		未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>					対応		未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

地域福祉に係る事業

事業名	高齢者世帯への奉仕事業	実施年数	19年目												
事業期間	開始：平成18年度	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	<基本目標>ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち高齢者が安心して暮らせるまちづくりに寄与する。														
目的 (期待される効果)	・一人暮らしの高齢者を訪問し、心の交流を図り相互に色んな情報（健康、家族の近況、困りごと）などお喋りをする事で何らかの励みに繋がっていると思う。														
事業内容・手段	<p>・健康福祉部員が、民生委員や福祉協力員・自治会長などと一緒に、70歳以上の一人暮らし高齢者宅を訪問する。</p> <p>期間 令和6年12月～令和7年1月 訪問 21地区 182人</p>														
事業費	19,934円														
対象者	佐土原小学校区全域の70歳以上の一人暮らし高齢者														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>182人</td> <td>180人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>193人</td> <td>191人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	182人	180人	スタッフ	11人	11人	合 計	193人	191人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	182人	180人													
スタッフ	11人	11人													
合 計	193人	191人													
住民の声（アンケートの結果等）	袋の中に粗品のタオルとメッセージカードが入っており民生委員からの激励の言葉掛けに大変喜ばれています。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	毎年一人暮らしの70才以上の方が変化するので把握をして訪問されてる。	広報	⑤事業の周知	A	A	地域づくり全体の行事に位置づけ広く対応してる。
	②住民の参加	B	B	民生委員・自治会長とも情報を共有し同行してもらい訪問している。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	一人暮らし高齢者に大変喜ばれている。高齢の見守りもできている。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	B	B	民生委員会と連携し訪問してもらっている。		事業継続の必要性	有	無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 一人暮らし高齢者の方は、外に出る機会も少なく、地域の近況など話すことで大変喜ばれている。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会でも出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

地域福祉に係る事業

事業名	認知症サポート事業	実施年数	5年目												
事業期間	開始：平成28年	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	<p><基本目標>ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち 一人でも多くの方が認知症患者と安心して暮らせるまちづくりをめざします。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域で共に生きるために「認知症になっても大丈夫」な社会生活を目指す。</p>														
事業内容・手段	<p>令和6年6月23日(日) 10:00~12:00 場所 佐土原地区交流センター学習室 実務 認知症サポーター養成講座 講師 船塚クリニック 日高院長・はなまる縁 吉留施設長他3名 参加者 50人 方法 座学・座談会・認知症のクリニック選び他</p>														
事業費	25,160円														
対象者	佐土原小学校区地域住民														
参加者数 (内訳)	<p>会議参加者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>37人</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>13人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>50人</td> <td>53人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	37人	41人	スタッフ	13人	12人	合 計	50人	53人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	37人	41人													
スタッフ	13人	12人													
合 計	50人	53人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>認知症になつても大丈夫 ～地域で共に生きるために～ アンケートより ①認知症を正しく理解できた ②生活環境の重要性を学習することが出来た *今回は医者立場から認知症の種類や考え方について分かりやすく説明いただき認識を深めることが出来ました。</p>														

◆自己評価（評価 A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	Å	Å	6人に1人の認知症患者対応の時代早期発見や対処法を習得できた。	広報	⑤事業の周知	Å	Å	回覧文書を各自治会へ配布し広く公募を行う。
	②住民の参加	Å	Å	自治会・民生委員の会合で参加依頼と地域内に回覧を配布し呼び掛けた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	Å	Å
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	Å	Å	異常の対処法を多くの地域住民が学ぶことは重要と考える。	事業の効果		⑦住民の満足度	Å	Å
	④各種団体との連携	Å	Å	専門病院の先生や認知症の方と直接参加頂きよりリアルなお話が聞けた。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 病院の院長先生や施設長、認知症の方とその家族の方が参加頂き座談会形式で実施できました。誰もが罹るかもしれない認知症正しく理解したいものです。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

地域福祉に係る事業

事業名	福祉施設訪問事業	実施年数	18年目												
事業期間	開始：平成19年度	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	<p><基本目標>ともに支え合い、安全で、安心して暮らせるまち 高齢者が急増しており、この人たちの幸せを考えると楽しく過ごせる環境作りを考える必要がある。住みよいまちづくりに関連した事業。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>福祉施設を訪問し、ゲームや歌を一緒に楽しむことによって交流を図る。 施設入所者へ楽しい時間を提供する。</p>														
事業内容・手段	<p>福祉施設訪問 令和6年度7月17日(水)14時～15時 明照福祉施設へ健康福祉部員、民生委員17名でプログラムを作成し参加慰問致しました。 プログラム ①慰問の挨拶 ②伝承芸能者代表による「いろは口説き踊り」③久峰大正琴演奏 ④健康体操 等</p>														
事業費	9,630円														
対象者	明照福祉会 結テラス利用者														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明照利用者</td> <td>45人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>17人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>62人</td> <td>コロナ禍で中止</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	明照利用者	45人	—	スタッフ	17人	—	合 計	62人	コロナ禍で中止
年 度	令和6年度	令和5年度													
明照利用者	45人	—													
スタッフ	17人	—													
合 計	62人	コロナ禍で中止													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>健康福祉部員と民生委員、有志の方17名の参加で大正琴演奏に合わせてのナツメロ歌謡曲の合唱や手足を使った体操、最後に佐土原に伝わるいろは口説きを会場内で踊り入所者の方が涙を流されてる方もいらっしゃいました。</p>														

◆自己評価（評価 A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	—	施設でも行事をしていますが外部の人との交流を心待ちにされています	広報	⑤事業の周知	A	—	広報紙掲載による周知と終了後の訪問での状況を掲載しお知らせをしてる
	②住民の参加	B	—	訪問者の中には講座で習得したのを披露する機会が出来よかった		事業の効果	⑥課題解決への作用	—	—
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—	短時間ではあるが年配の方とのふれあいが出来て喜んで頂き心がなごみます			⑦住民の満足度	A	—
	④各種団体との連携	B	—	施設や講座出演者等の協力を得て実施できた	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 参加者の自己紹介では入所者と同じ地区の方が居られたりして盛り上がります。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

健康づくりに係る事業

事業名	健康づくり事業	実施年数	20年目																								
事業期間	開始：平成17年度	終了： 年度																									
地域魅力発信プランとの関連	<p><基本目標>活気があふれ、生き生きと働けるまち 佐土原町民が男女年齢を問わず参加できるよう十分配慮しそれぞれの適応能力、適応年齢、地区力など配慮した事業運営をする。</p>																										
目的 (期待される効果)	連帯意識の高揚と健康な体作りをめざして明るく豊かな地域づくりをする。																										
事業内容・手段	<p>(1) グラウンドゴルフ大会 試合方式(個人戦) ・令和6年7月に大会開催で準備したが雨の為順延 ・令和7年3月2日(日)大会開催 ・佐土原小学校グラウンドにて</p> <p>(2) 第20回ふれあいミニバレーボール大会 時期 令和6年11月24日(日)10時~15時30分 会場 宮崎市西体育館 内容 9地区 13チーム 96人参加</p>																										
事業費	121,563円																										
対象者	佐土原小学校区市民																										
参加者数 (内訳)	<p>第1回グラウンド大会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>44人</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>12人</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>56人</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>第20回ふれあいミニバレーボール大会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>96人</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>16人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>112人</td> <td>123人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	44人	0	スタッフ	12人	0	合 計	56人	0	年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	96人	105人	スタッフ	16人	18人	合 計	112人	123人
年 度	令和6年度	令和5年度																									
一般参加者	44人	0																									
スタッフ	12人	0																									
合 計	56人	0																									
年 度	令和6年度	令和5年度																									
一般参加者	96人	105人																									
スタッフ	16人	18人																									
合 計	112人	123人																									
住民の声(アンケートの結果等)	地域の皆さんとの交流が世代を超えて今後も継続して行けるような行事でもあり今後も続けていって欲しい。																										

◆自己評価（評価 A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	ふれあいミニバレー大会は楽しくやれるように規約変更を行った、例えばサーブは山なりサーブへとか	広報	⑤事業の周知	A	A	広報チラシを自治会班回覧で実施した グラウンド大会は中学校、小学校の生徒さんの参加依頼をした	
	②住民の参加	A	A	ふれあいミニバレーボール大会はコロナ以降参加者が少なかった。 グラウンド大会は個人戦ニーズを反映			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	幅広い年代の参加で行われ又多くのまちづくり推進委員会も実施されてる事業と思う。		⑦住民の満足度			A	A
	④各種団体との連携	A	A	佐土原バレーボール協会と連動で実施した。			事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <p>地区対抗戦と位置図けて大会を開催したが、単独でのチーム編成が出来なかった地区は3地区合同でチームを作り参加されました。また競技中は女性1名と65才以上の方がコート内に常時いることとして開催した。 グラウンド大会は小学校の教頭、校長先生の協力を得た大会でした</p>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済			
		<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済			
		<意見への対応>								

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

伝統文化に係る事業

事業名	伝統文化伝承事業	実施年数	20年目																								
事業期間	開始：平成17年度	終了： 年度																									
地域魅力発信 プランとの関連	＜基本目標＞郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち 佐土原にある多くの歴史的史跡、伝統的文化を伝承するための方法を探る事業である。																										
目的 (期待される効果)	地域に伝承されている有形・無形文化財の保護活動に寄与し佐土原との関わりに触れより深い歴史認識を教授していく。																										
事業内容・手段	<p>(1) 研修視察 九州の戦国時代の代表的な戦いの地 時期 令和6年11月17日(日) 場所 えびの市(歴史資料館、木崎原合戦場) 小林市(関ヶ原合戦記念碑、伊東塚) 内容 九州の戦国時代代表的な戦いの地 島津氏と伊東氏の歴史認識を成就 受け皿のえびの市、小林市の教育委員会、とガイドの会の方と 準備をし史跡巡りコースや時間配分等進めた。</p> <p>(2) 伝承芸能 いろは口説き 月1回の練習とイベント参加で披露 巨田神楽 巨田神社社務所で月2回練習 各種お祭りで披露</p>																										
事業費	185,981円																										
対象者	地区住民 佐土原小学校区地域づくり協議会会員 鶴松館ガイドの会																										
参加者数 (内訳)	<p>(1) 研修視察</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度 えびの・小林</th> <th>令和5年度 木城・高鍋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域づくり 参加者</td> <td>18人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 伝承芸能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いろは口説き参加者</td> <td>200人</td> <td>180人</td> </tr> <tr> <td>巨田神楽参加者</td> <td>83人</td> <td>85人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>283人</td> <td>265人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和6年度 えびの・小林	令和5年度 木城・高鍋	地域づくり 参加者	18人	19人	スタッフ	2人	2人	合計	20人	21人	年度	令和6年度	令和5年度	いろは口説き参加者	200人	180人	巨田神楽参加者	83人	85人	合計	283人	265人
年度	令和6年度 えびの・小林	令和5年度 木城・高鍋																									
地域づくり 参加者	18人	19人																									
スタッフ	2人	2人																									
合計	20人	21人																									
年度	令和6年度	令和5年度																									
いろは口説き参加者	200人	180人																									
巨田神楽参加者	83人	85人																									
合計	283人	265人																									
住民の声(アンケートの結果等)	昨年に引き続き佐土原と縁のある宮崎の史跡を訪問出来て伊東、島津家の歴史と地域との係わり方など理解できました。7年前佐土原の堤地区に小林市堤の方が私達先祖のルーツでもあるという事で交流会が有りましたが、この度はこちらからの視察は2度目になりますが参加者は初めての方で喜ばれていました。																										

◆自己評価（評価 A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	対象者が地域づくり会員の為、役員会にて今年度の研修視察の目的や考え方を整合した。	広報	⑤事業の周知	A	A	・地域づくりの役員へのメールや案内文を作成し部員に届けた。 ・まつりの案内時いろは口説きや巨田神楽の広報を行う
	②住民の参加	A	A	地域づくり会員の人の中心に視察を実施した。 佐土原の伝承芸能をみたりするたびに伝統の大事さを思う		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	えびの・小林ガイドの方と事前確認を行い島津、伊東家に関する史跡を中心に設定した。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	関係先（えびの・小林）の教育委員会、商工会、観光協会との事前計画書作成。		事業継続の必要性	有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・行程表作成にあたり各市役所の教育委員会の方が時間配分等検討頂きました。また史跡訪問先ではガイドの方が説明を頂きました。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>						対応		未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>						対応		未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

地域教育に係る事業

事業名	学校との連携に関する事業	実施年数	19年目																								
事業期間	開始：平成18年度																										
地域魅力発信プランとの関連	<基本目標> ・活気があふれ、いきいきと働けるまち。 ・郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち。																										
目的 (期待される効果)	青少年の健全育成																										
事業内容・手段	(1) 第18回 一年生との交流会 時期 令和6年6月24日(月) 会場 佐土原小学校 全校生徒・・・見守り隊紹介、地域づくりの取組説明 一年生・・・勉強で使えるクーピー贈呈 (2) 駅伝大会 実施日 令和7年1月19日 第60回 距離を短縮して実施予定でしたがインフルエンザの為中止となる。																										
事業費	38,751円																										
対象者	小学校児童 児童保護者 老人会																										
参加者数 (内訳)	(1) 新一年生大会 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生全員(一年生)</td> <td>196人(43)</td> <td>(45)</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>13人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>209人</td> <td>202人</td> </tr> </tbody> </table> (2) 駅伝大会 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校走者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>インフルエンザの為中止</td> <td>雨の為中止</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	小学生全員(一年生)	196人(43)	(45)	スタッフ	13人	4人	合 計	209人	202人	年 度	令和6年度	令和5年度	小学校走者	—	—	スタッフ	—	—	合 計	インフルエンザの為中止	雨の為中止
年 度	令和6年度	令和5年度																									
小学生全員(一年生)	196人(43)	(45)																									
スタッフ	13人	4人																									
合 計	209人	202人																									
年 度	令和6年度	令和5年度																									
小学校走者	—	—																									
スタッフ	—	—																									
合 計	インフルエンザの為中止	雨の為中止																									
住民の声(アンケートの結果等)	・新一年生の親として登下校の見守りを地域の方々が実施して頂き安心していきます。 ・駅伝大会は児童減で走る距離、走る地区も縮小され歴史ある大会も寂しく中止は残念です。																										

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	駅伝大会を楽しみにしているが走らない所が増え残念です。	広報	⑤事業の周知	A	A	教育委員会での協議を実施した。地区回覧文書を自治会長に配布。広報紙掲載し地区回覧。	
	②住民の参加	A	B	一年生との交流は見守り隊の紹介と地域教育委員の紹介ができた。			事業の効果	⑥課題解決への作用		A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	小学校の先生、児童との交流が出来る事で相互に結びつきができた。	事業の必要性	⑦住民の満足度			B	B
	④各種団体との連携	A	A	小学校PTAと確認会を実施した。			(有) ・ 無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・一年生との交流会は地域づくり関係者と各地区の見守り代表者が学校へ出向き実施した。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

地域教育に係る事業

事業名	三世代交流（協議会講座）事業	実施年数	5年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	<p><基本目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活気があふれ、いきいきと働けるまち。 ・郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち。 														
目的 (期待される効果)	親・子・祖父母の3世代交流でお年寄りの経験、知恵を借りて佐土原町民へ幅広い知識の伝授を行った。														
事業内容・手段	<p>*クリスマスケーキ作り 12月18日(水) 子供 22人 保護者 4人 スタッフ 4人</p> <p>*餅つき大会 令和6年12月21日(土)準備 22日(日)餅つき 保育園児、小学生、親、祖父母 28人(当日) スタッフ 46人(2日間) 餅と練栗をうすと杵を使い高齢者と父兄、子供が餅をつき、丸め方など行った。</p> <p>*バルーンアート 3月30日(桜まつり開催時) 約150名</p> <p>*レジンアクセサリ作成 3月30日(桜まつり開催時) 約80名</p> <p>*けん玉体験 3月30日(桜まつり開催時) 約80名</p>														
事業費	77,453円														
対象者	佐土原小校区地域住民 (子供から敬老者)														
参加者数 (内訳)	<p>(1) 三世代交流</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>360人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>57人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>417人</td> <td>33人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	360人	21人	スタッフ	57人	12人	合 計	417人	33人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	360人	21人													
スタッフ	57人	12人													
合 計	417人	33人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>・臼や杵で餅つきをされてる情景が見慣れない中、父兄、子供さんに経験して頂きたいとの思いで初めて取り組みました。参加された皆さんの笑い声が最後まで続き楽しく貴重な体験をしました。</p>														

◆自己評価（評価 A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	初めての講座も出来、出来栄えに満足された。	広報	⑤事業の周知	A	B	地区回覧チラシを作成し協議会講座の周知を行いました。小学校の協力を得て生徒さん全員に案内を出した。	
	②住民の参加	A	A	餅つき大会はスタッフも初めてのことで段取り時地域の住民より情報を頂き準備をした。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	スタッフも初めての行事で試行錯誤で実施出来た経験を次年度に反映します。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の活性化に向けた活動に繋げる。			⑦住民の満足度	A	A	自分達でついた餅をお土産として持ち帰り家庭でも体験談の話が出来親子のコミュニケーションに繋がった。アンケート結果来年度も全員参加したいとの回答。
	④各種団体との連携	A	A	ものづくり体験教室を今後も活用出来るようお願いします。	事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> スタッフの担当分けを行い実施することでスムーズに出来たと思います。 おじいさん・・・餅つきを子供さんと保護者に指導 おばあさん・・・餅米洗い、蒸し、練栗段取り、餅丸めを子供さんと保護者へ指導								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 月・ ）> <意見への対応>					対応		未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

その他の事業

事業名	広報事業	実施年数	20年目												
事業期間	開始：平成17年度	終了： 年度													
地域魅力発信プランとの関連	<p><基本目標>地域づくり協議会行事や地域の話題、情報を提供することにより活気あふれいきいきと働けるまちづくりに結び付ける。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域づくり協議会の活動内容を的確に伝え各部の活動や地域の話題等情報伝達に努め佐土原小学校区全体が活性化できたらと思います。</p>														
事業内容・手段	<p>年間3回発行を実施 300部カラー印刷 No74号 令和6年6月25日発行 認知症講座、花しょうぶ祭り、総会結果 No75号 令和6年10月10日発行 防災対応訓練 No76号 令和7年2月10日発行 地域の行事(そうめん流し、夏祭り)イルミネーション、餅つき会</p>														
事業費	140,011 円														
対象者	佐土原小学校区地域づくり協議会会員 地区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報部員</td> <td>延べ45人</td> <td>延べ60人</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>延べ18人</td> <td>延べ24人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延べ61人</td> <td>延べ84人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	広報部員	延べ45人	延べ60人	事務局	延べ18人	延べ24人	合 計	延べ61人	延べ84人
年 度	令和6年度	令和5年度													
広報部員	延べ45人	延べ60人													
事務局	延べ18人	延べ24人													
合 計	延べ61人	延べ84人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>広報紙発行にあたり、地域の出来事地域づくりの活動を中心に原稿を依頼し提出された原稿を元に広報部員さんが文章の更正からレイアウト等全てを担当し発行まで実施している。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	協議会の行事予定を必ず載せるようにしている。各自治会の行事も紹介している。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会内広報紙回覧原稿募集による関心喚起。
	②住民の参加	A	A	地域住民が日常活動で参加されてる事などの情報を収集し載せた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域に密着した各種行事や開催タイミングに併せ記事を発行した。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	自治会長会 民生委員会 老人会 地区内自主団体（さつき会、郷土史、ガイドの会）	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・地域づくり協議会の事業を地区住民へ伝えるとともに、町民の方々へ佐土原に関する行事や出来事について詳細に皆様に伝え大変な反響が有りました。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

その他の事業

事業名	佐土原のまつり活性化事業	実施年数	19年目																																																
事業期間	開始：平成18年度	終了： 年度																																																	
地域魅力発信 プランとの関連	<p><基本目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活気があふれ、いきいきと働けるまち。 ・郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つまち。 																																																		
目的 (期待される効果)	佐土原町民のふれあいと活性化に向けて。																																																		
事業内容・手段	<p>(1) 佐土原花しょうぶまつり 時期 令和6年6月1日(土)2日(日) 場所 宮崎市佐土原歴史館「鶴松館」一部「いろは館」「佐土原交流センター」で実施 内容 野立て、コンサート、楽器演奏他</p> <p>(2) 佐土原夏祭り 時期 令和6年7月20日(土)、21日(日) 場所 本町通り 内容 子供ダンジリ体験、いろは口説、ダンジリ喧嘩等</p> <p>(3) 第三回まちなかコンサート 時期 令和6年10月14日(土)午後18:30～ 石川工業</p> <p>(4) 宝塔山公園桜まつり 時期 令和7年3月30日(日) 場所 宝塔山公園 時間 10時～15時 内容 コン서트、お楽しみゲーム、パターゴルフ、道路に絵を描こう、せんぐ 他</p>																																																		
事業費	333,678円																																																		
対象者	地区住民 佐土原町内外祭り来訪者																																																		
参	<p>(1) 佐土原花しょうぶまつり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>2,600人</td> <td>2,000人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>30人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,630人</td> <td>2,030人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 佐土原夏祭り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>5,000人</td> <td>3,500人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>42人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,042人</td> <td>3,545人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) まちなかコンサート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>100人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>20人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>120人</td> <td>108人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 宝塔山公園桜まつり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>600人</td> <td>500人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>20人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>620人</td> <td>517人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	2,600人	2,000人	スタッフ	30人	30人	合計	2,630人	2,030人	年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	5,000人	3,500人	スタッフ	42人	45人	合計	5,042人	3,545人	年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	100人	100人	スタッフ	20人	8人	合計	120人	108人	年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	600人	500人	スタッフ	20人	17人	合計	620人	517人
年度	令和6年度	令和5年度																																																	
一般参加者	2,600人	2,000人																																																	
スタッフ	30人	30人																																																	
合計	2,630人	2,030人																																																	
年度	令和6年度	令和5年度																																																	
一般参加者	5,000人	3,500人																																																	
スタッフ	42人	45人																																																	
合計	5,042人	3,545人																																																	
年度	令和6年度	令和5年度																																																	
一般参加者	100人	100人																																																	
スタッフ	20人	8人																																																	
合計	120人	108人																																																	
年度	令和6年度	令和5年度																																																	
一般参加者	600人	500人																																																	
スタッフ	20人	17人																																																	
合計	620人	517人																																																	
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>・まちなかコンサートでは素晴らしいコンサートでした、倉庫での開催?と聞いていましたが、その良さが分りましたし今後も継続して実施してくださいとの声が有りました。</p> <p>・花しょうぶ、桜まつりに於いては練習されてる芸を発表したいとの申し込みが多くお断りするのが大変でした。</p>																																																		

◆自己評価（評価 A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	Å	Å	各祭りの実行委員会と地域づくり協議会が十分に話し合いをして役割分担を決めて取り組んでいる。	広報	⑤事業の周知	A	A	さどわら便りや地域づくり広報紙を通じ地域へのアピールを実施した。市役所、スーパー、保育園、学校、商店などにポスターを配布し掲載してる。
	②住民の参加	Å	Å	コンサートは市内外からの参加が有りました。実施後アンケートを取り次年度へ繋げてる。		事業の効果	⑥課題解決への作用	Å	Å
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	Å	Å	実行委員会は地域づくり協議会（まちおこし部員）が中心となり役割分担を決めて取り組んでいる。			⑦住民の満足度	Å	Å
	④各種団体との連携	A	A	夏まつり、桜まつりは各種団体と話し合いを行いながら計画を立案した。		事業継続の必要性		(有) ・ 無	
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古民家コンサートでは民間のグループとプロ歌手の参加のもと実施し大変な盛り上がりでした。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

その他の事業

事業名	イルミネーション事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：年度													
地域魅力発信プランとの関連	<基本目標>活気があふれ、いきいきと働けるまちづくり。														
目的 (期待される効果)	交流センターで講座参加者や佐土原町内外の人に対し明るく飾り付けられたイルミネーションを見ていただく事により心を和んで頂く。														
事業内容・手段	佐土原地区交流センター内外にイルミネーションの飾り付けと点灯 11月30日(土)飾り付け(中学3年生・教育部部員・交流センター職員) 11月30日～1月12日 18時～22時まで点灯 1月14日(火)イルミネーション撤去														
事業費	75,503円														
対象者	地域住民 国道219号線通行人														
参加者数 (内訳)	<p>※イルミネーション飾付と点灯式(令和5年度のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>点灯式中止</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>スタッフ 11人 中学生 29人</td> <td>スタッフ 20人 中学生 40人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>40人</td> <td>460人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	点灯式中止	400人	スタッフ	スタッフ 11人 中学生 29人	スタッフ 20人 中学生 40人	合 計	40人	460人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	点灯式中止	400人													
スタッフ	スタッフ 11人 中学生 29人	スタッフ 20人 中学生 40人													
合 計	40人	460人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生のボランティア活動の一環で沢山の生徒さんが参画してくれいろんな事にチャレンジしてくれました記憶に残る事でしょう。 ・商店街が寂しくなる中、交流センターのイルミネーションが点灯しており見学に来るのが楽しみです。 														

◆自己評価（評価 A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	佐土原町の活性化のため冬に何かイベントはできないかという声を反映させた。	広報	⑤事業の周知	A	A	地区回覧チラシを作成し点灯期間など周知する。
	②住民の参加	A	A	イルミネーション飾付準備で中学生も精力的に協力してくれた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域を活性化させるべく、イルミネーションを点灯し心和む活動。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	佐土原地区交流センター 地区自治会 佐土原中学校	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・佐土原交流センター職員の方、地域教育部、中学生のボランティアの参画を得て飾付行事が開催できました。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未・済			
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	子ども見守り隊事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	20,000	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	20,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	20,680	①子ども見守り活動 20,680円 バンドエイド(S,M,L,ワイド) 25個 15,571円 救急箱1,703円×3個 5,109円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	20,680	

収支差額(A) - (B)	-680
---------------	------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	防災訓練事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	繰越金	117,844	
2			
3			
4	合計(A)	117,844	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	14,375円	①地域防災訓練 14,375円 参加者用お茶 130円×55本 7,150円 役員景品305円×15個 4,575円 紙コップ(50個入り) 110円×4個 440円 会議・打合せ用お茶 130円×17本 2,210円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	14,375	

収支差額(A) - (B)	103,469
---------------	---------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	高齢者世帯への奉仕事業
-----	-------------

(1)収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	25,000	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	25,000	

(2)支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	19,934	①一人暮らし高齢者訪問 19,934円 訪問先へタオル91円×170枚+消費税1,547円 17,017円 タオルを入れる袋 199円×5個 995円 訪問者用お茶一箱(24本) 1本約80円 1,922円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	19,934	

収支差額(A) - (B)	5,066
---------------	-------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	認知症サポート事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	30,000	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	30,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	13,500	①認知症サポーター養成講座 13,500円
			基調講演 専門講師謝礼 5,000円×2時間 10,000円
			認知症サポーターキャラバン 700円×5名他 3,500円
2	需用費	11,660	①認知症サポーター養成講座 11,660円
			参加者用お茶 170円×48本 8,160円
			部員・ボランティア景品 350円×10名 3,500円
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	25,160	

収支差額(A) - (B)	4,840
---------------	-------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	施設訪問事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	10,000	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	10,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	9,630	①福祉施設訪問 9,630円 参加者用景品 17名分 8,360円 打合せ用お茶 98円×12本+税94円 1,270円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	9,630	

収支差額(A) - (B)	370
---------------	-----

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	健康づくり事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	160,000	
2		0	
3			
4	合計(A)	160,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	99,605	①グラウンドゴルフ大会 42,086円
			トートバック、紙コップ、フック等 2,640円
			参加景品 65名分 14,922円
			賞品 1位~3位他15名分(大人、中学生、小学生部門) 16,273円
			部員・役員景品 13名分 5,970円
			打合せ・会議用お茶 88円×24本+税169円 2,281円
			②ふれあいミニバレーボール大会 57,519円
			エアーサロンパス、カットパン 2,697円
			バレーボール 1,500円×5個、笛110円×13個 8,930円
			参加景品 11,564円
賞品 1位~3位(1位グループ~3,4位グループ) 22,832円			
役員弁当600円×16名、お茶79円×24本 11,496円			
2	役務費	4,508	①グラウンドゴルフ大会 1,820円
			保険料 28円×65名 1,820円
			②ふれあいミニバレーボール大会 2,688円
			保険料 28円×96名 2,688円
3	使用料及び賃借料	17,450	①グラウンドゴルフ大会 4,000円
			自家用車使用料2台分 4,000円
			②ふれあいミニバレーボール大会 13,450円
			佐土原西体育館使用料(9時~16時) 1,350円×7時間 9,450円
			自家用車使用料 2,000円×2台 4,000円
4	合計(B)	121,563	
収支差額(A) - (B)		38,437	

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土地域自治区
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	伝統文化伝承事業
-----	----------

(1)収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	200,000	
2		0	
3		0	
4	合計(A)	200,000	

(2)支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	36,000	①研修視察 1,000円
			えびのガイド料 1,000円
			②伝承芸能保存 35,000円
			いろは口説き講師料 延べ50名分 5,000円×6回 30,000円
			鎧兜着付け講師料 5名分 5,000円×1回 5,000円
2	需用費	54,491	①研修視察 16,100円
			おみやげ(くじらようかん420円×5個) 2,100円
			昼食代 700円×20名 14,000円
			②伝承芸能保存 38,391円
			せんぐまきお菓子 6,212円
			巨田神楽練習等景品、飲物、お菓子 28,814円
			おみやげ(垂水おもてなし隊) 3,365円
3	役務費	560	①研修視察 560円
			保険料 28円×20名 560円
4	委託料	94,930	①研修視察 91,930円
			マイクロバス(20名乗り)1台 貸切バス一式+振込手数料 91,930円
			②伝承芸能保存 3,000円
			いろは口説き CD作成15枚分 3,000円
5	合計(B)	185,981	

収支差額(A) - (B)	14,019
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	学校との連携に関する事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	80,000	
2			
3		0	
4	合計(A)	80,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	38,751	①一年生との交流会 38,751円 一年生景品 約785円 43名分 33,751円 他参加者景品 500円×10個 5,000円
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	38,751	

収支差額(A) - (B)	41,249
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	三世代交流(旧:協議会講座)事業
-----	------------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	100,000	
2			
3			
4	合計(A)	100,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	17,000	①三世代交流 17,000円
			もちつき講師料(1時間) 3,000円
			レジンキーホルダー講師料(2時間) 6,000円
			バルーンアート 講師料(2時間) 3,000円
			けん玉講師料(2時間) 5,000円
2	需用費	41,613	①三世代交流 41,613円
			クリスマスケーキ作り 材料費他 7,668円
			もちつき大会 材料費 18,043円
			レジンキーホルダー 材料費 11,590円
			道路に絵を描こう チョーク代 4,312円
3	役務費	840	①三世代交流 840円
			もちつき大会 保険料 28円×30名 840円
4	使用料及び賃借料	18,000	①三世代交流 18,000円
			臼、杵、もろぶた、自家用車他使用料 18,000円
5			
6			
7			
8			
9			
10	合計(B)	77,453	

収支差額(A) - (B)	22,547
---------------	--------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区
佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	広報事業
-----	------

(1)収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	145,000	
2			
3		0	
4	合計(A)	145,000	

(2)支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	10,351	①広報紙作成 10,351円
			執筆料 21名分 10,351円
2	需用費	115,680	①広報紙作成 115,680円
			トナーカートリッジ 8個 74,250円
			感光体ユニット 4個 37,400円
			会議・取材用お茶24本他 4,030円
3	消耗品費	13,980	①広報紙作成 13,980円
			パーソナル編集長 13,980円
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12	合計(B)	140,011	

収支差額(A) - (B)	4,989
---------------	-------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	佐土原のまつり活性化事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	213,000	
2	繰越金	127,000	
3			
4	合計(A)	340,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	90,000	③まちなかコンサート 90,000円
			出演料20,000円×4名、10,000円×1名 90,000円
2	需用費	219,678	①佐土原花しょうぶまつり 49,428円
			スタンプラリー景品200名分 31,228円
			役員・ボランティア昼食代 700円×26名 18,200円
			②佐土原夏祭り 68,615円
			A4,A3ラミネートフィルム 5,159円
			せんぐまき用おもち、お菓子 36,577円
			スタンプラリー景品300名分 26,879円
			③まちなかコンサート 22,201円
			役員・ボランティア弁当代 600円×14名 8,400円
			役員・ボランティア景品代(準備・片付け等) 延べ30名 13,801円
			④宝塔山公園桜まつり 79,434円
			せんぐまき用お餅・お菓子 14,980円
お楽しみゲーム景品 100名分 16,154円			
ステージ景品 300円×25名、500円×47名 31,000円			
役員・ボランティア昼食代700円×20名 14,000円			
部会、打合せ、準備、草刈りお茶代24本入り×2箱 3,300円			
3	委託料	15,000	③まちなかコンサート 15,000円
			会場設営、音響操作料、照明操作料 15,000円
4	使用料及び賃借料	9,000	③まちなかコンサート 9,000円
			場所、自家用車使用料 9,000円
5	合計(B)	333,678	

収支差額(A) - (B)	6,322
---------------	-------

(様式第6号)

事業別収支計算書

佐土原地域自治区

佐土原小学校区地域づくり協議会

事業名	イルミネーション事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	80,000	
2			
3			
4	合計(A)	80,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	73,211	①イルミネーション 73,211円
			ソーラーイルミネーション
			花火×2 8,252円
			チューブライト×3 8,806円
			ハート×2 3,960円
			ストレート×2 2,360円
			ローブライト×2 3,648円
			ネット、桜、星、ボンボン、雪だるま、ストリング他 15,597円
			イルミネーション ストレート(くじら波の部分付け替え) 2,420円
			光るおもちゃプレゼント 100名分 11,747円
役員・ボランティア飲物、お菓子 35名分 11,357円			
役員・ボランティア景品 35名分 5,064円			
2	使用料及び賃借料	2,292	①イルミネーション 2,292円
			電気使用量(R6.11.30~R7.1.13 45日間) 2,292円
3			
4			
5	合計(B)	75,503	
収支差額(A) - (B)		4,497	

(様式第 10 号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和 7 年 4 月 23 日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市佐土原町上田島 1 3 8 9
名 称 佐土原小学校区地域づくり協議
会代表者の氏名 会長 山下 健勇 印
電 話 番 号 0 9 8 5 - 7 4 - 3 4 7 1

令和 6 年 5 月 2 8 日付で交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、決算において 2 4 5, 1 2 5 円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添 付 書 類

令和 6 年度収支決算書

(様式第8号)

令和 7年 5月 20日

令和6年度 佐土原小学校区地域づくり推進委員会への意見書 [事業実施報告]

佐土原地域自治区地域協議会
会長 根井 翼

令和6年度の佐土原地域自治区（佐土原小学校）の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。

なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1 総括

計画に沿って適正な運営が図られていました。

事業実績報告書における自己評価を踏まえて、今後の事業に活かしてください。

事業の実施にあたっては、更に工夫を凝らして成果が得られるようにお願いします。

2 事業の推進体制

特にありません。

3 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見

4 その他